

最近の雇用失業情勢（令和6年11月の内容）

1 県内概況

「有効求人倍率は1.29倍（季調値）」（前月より0.01ポイント上昇）

[概況]

- 「雇用情勢は、**改善の動きが弱まっている**。物価上昇等の影響に十分注意する必要がある。」
- 有効求人倍率は**前月より0.01ポイント上昇**。

[基調判断]

- **《情勢維持》**

[判断根拠]

- 有効求人倍率が上昇しているが、一時的な動きかも含めて、今後の状況を注視する必要があるため。

2 各指標の動向

新規求人数は運輸、郵便業等で増。製造業等で減。

[新規求人数]

当月：4,581人 運輸、郵便業の増員等により+35人
（前年同月 0.8%増）

[産業分類別]

- 「増」（対前年同月比）
 - 【運輸、郵便業】当月：354人 前年同月：+105人
 - 【建設業】当月：505人 前年同月：+77人
 - 【公務・その他】：334人 前年同月：+48人
- 「減」（対前年同月比）
 - 【製造業】当月：451人 前年同月：-58人
 - 【卸・小売業】当月：547人 前年同月：-53人
 - 【宿泊・飲食サービス業】：374人 前年同月：-36人

[地域別求人倍率]

【鳥取所】当月：1.22倍 前年同月：+0.15P
【米子所】当月：1.48倍 前年同月：-0.12P
【倉吉所】当月：1.29倍 前年同月：-0.15P

[正社員関連]

有効求人倍率 1.11倍（17ヵ月ぶりに前年同月を上回る）
→全国指標1.06倍（2ヵ月連続で前年同月を上回る）

[新規求職者数]

当月：1,711人（前年同月0.9%減）